

講演『図書館空間をつくる:利用者を引きつける空間づくり』

平成22年11月30日(火)

[はじめに]

“人を引きつける”とは? -----プラス要素とマイナス要素

[掲示物を考える]

I, 行動を起こす前に、その目的を考える

- 1) 「なぜ、それを掲示するのですか？」
まずは根本的な問いかけから始める。
- 2) 「一番シンプルな答えはなんですか？」
行動を起こす一番の目的は何かを認識する。
例1: 伝えたい情報があるのです。
例2: 壁ががらんとしていることが気になるのです。

II, 行動を起こす前の、さらにもう一步

- 1) 目的を分析する
例1の目的=情報を伝える→誰に伝える?→**伝わる**にはどうすればよいか?
例2の目的=壁を飾る→貼り方は? 掲示物を貼る事がベスト?
- 2) 目的や条件を整理する

III, プラス要素をマイナスに変えないために (参考資料1〜3別紙)

- 1) 余計な情報を除く
 - ゆがみや破れが示すもの
 - 粘着テープの意外な存在感
- 2) 視覚情報を整理する
 - 色彩を使った整理方法
 - ・ 多色は騒色
 - ・ 色の性質
 - ・ 色は形や面積を変えても同じ情報を伝える
 - ・ 濃淡で整理する
 - 人の目線を考える
 - ・ 見やすい位置/量
 - ・ 情報に順序をつける

IV, プラスをプラスに、マイナスをプラスに

- 1) 掲示物で引きつける
- 2) 掲示物で人を誘う流れを作る

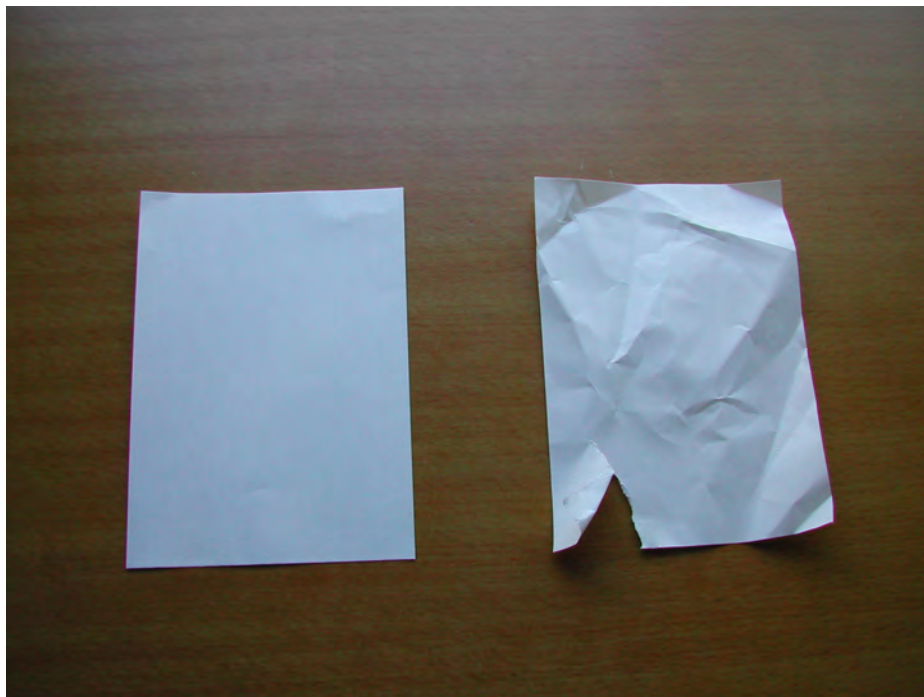
平成 22 年 11 月 30 日

講演『図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり』

Ⅲ、プラス要素をマイナスに変えないために

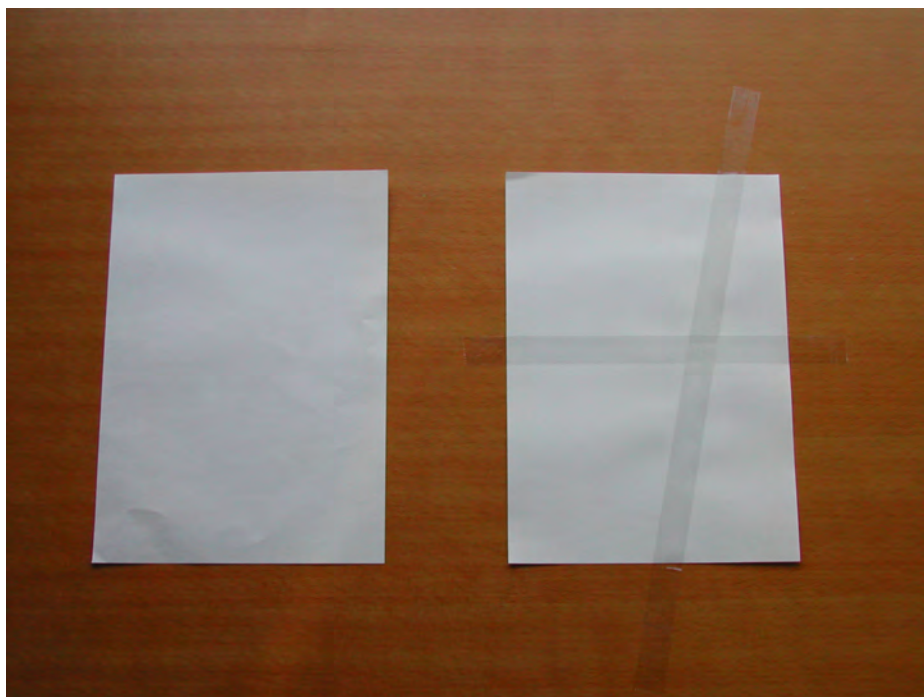
1) 余計な情報を除く

○ ゆがみや破れが示すもの



1 枚のコピー用紙を半分に分け、同じ大きさの紙を 2 枚作りました。
あなたはこの 2 枚を同じように扱いますか？

○ 粘着テープの意外な存在感



右：セロテープで貼られた白い紙
左：白い紙

→ 言葉にすると、情報量に違いがあることが分かります。

2) 視覚情報を整理する

○色彩を使った整理方法

- ・多色は騒色



色は使えば使うほど、混乱して騒がしい印象になります。
 そうすると一番必要な情報を瞬時に見つけることが難しくなります。

- ・色の性質

暖色＝暖かみを感じる色 [性質：進出色、活動的、積極的、興奮]



寒色＝冷たさを感じる色 [性質：後退色、沈静的、消極的、落ち着き]



中性色＝暖かさも冷たさも感じない色 [性質：中庸、平静、くつろぎ]



- ・色は形や面積を変えても同じ情報を伝える

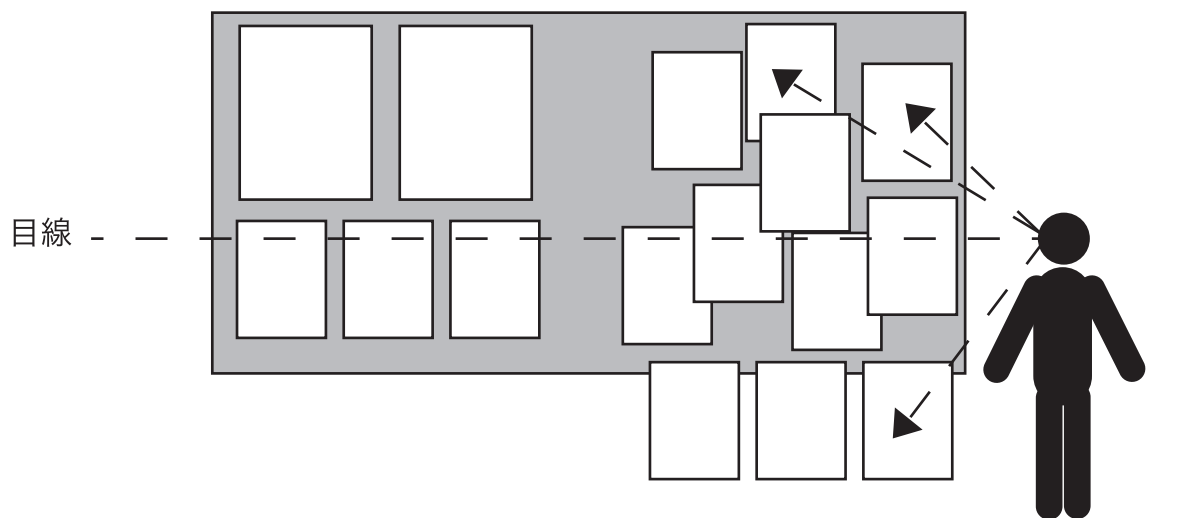


- ・濃淡で整理する



○人の目線を考える

- ・見やすい位置 / 量



- ・情報に順序をつける

シンプルで伝わりやすい情報から詳細な情報へ

